

# リサイクルセンター整備運営事業費について

(令和8年5月時点)

## 1 事業費の推移

令和8年2月16日に開催した環境都市常任委員会勉強会における委員の皆さまのご意見等を踏まえ、リサイクルセンター整備運営事業発注支援業務委託業者を通じて、昨年12月に見積書の提出があった事業者ヒアリングを行い、精査を行いました。また、リサイクルセンター整備運営事業に係る要求水準書について、直接ごみ処理に関係しない部分について、庁内技師の意見も踏まえて内容を精査し、削減を行いました。それらを踏まえた事業費(整備費・運営費)は以下のとおりです。

(全て税込表示)

年度	整備費(3年間)	運営費(20年間)	合計
① 平成30年度 (リサイクルセンター整備 備詳細計画策定)	5,610,000 千円	5,000,680 千円	10,610,680 千円
② 令和4年度 (施設整備検討報告)	4,721,713 千円	4,099,600 千円	8,821,313 千円
(H30比)	▲888,287 千円	▲901,080 千円	▲1,789,367 千円
③ 令和7年度(4月) (整備詳細計画改訂)	9,713,000 千円	5,921,160 千円	15,634,160 千円
(H30比)	+4,103,000 千円	+920,480 千円	+5,023,480 千円
④ 令和7年度(12月) (公告前見積徴収)平均	13,306,333 千円	11,278,655 千円	24,584,988 千円
(H30比)	+7,696,333 千円	+6,277,975 千円	+13,974,308 千円
<b>⑤ 令和8年度(4月) (精査・削減後再設定)</b>	<b>11,753,610 千円</b>	<b>9,108,000 千円</b>	<b>20,861,610 千円</b>
(H30比)	+6,143,610 千円	+4,107,320 千円	+10,250,930 千円
(前回12月比)	▲1,552,723 千円	▲2,170,655 千円	▲3,723,378 千円

①平成30年度時点の施設規模は36.9t/日を想定 ②令和4年度は同規模施設の直近落札額をもとに設定

③④⑤令和7年度以降の施設規模は計画改定時に人口規模や処理系列を見直し、25.5t/日を想定

## 2 前回勉強会報告(令和8年2月)時点からの比較

2月の勉強会でご説明したとおり、令和7年12月時点の3者からの見積金額から、さらに精査・削減が可能であると判断し、整備費を120億円以下、運営費を20年間で100億円以下に抑えるべく調整を進めてきました。また、前述の事業費において、25年間(R7～31)の歳入歳出のシミュレーションを行っていることから、以下の表のとおり、前回と今回の事業費を算出した結果を比較しましたのでご報告します。

(全て税込表示)

費目	今回(5月時点)	前回(2月報告)	差引(25年間)
<b>【歳入】 合計</b>	<b>18,759,070 千円</b>	<b>18,727,937 千円</b>	<b>+31,133 千円</b>
国庫補助金	4,261,937 千円	4,213,754 千円	+48,183 千円
	補助対象事業費の見直しに伴う増		
地方債	8,318,100 千円	8,524,600 千円	▲206,500 千円
	補助金の増に伴う財源調整による減		
交付税措置	3,839,283 千円	3,649,833 千円	+189,450 千円
	元利金償還額の増額に伴う増		

費目	今回(5月時点)	前回(2月報告)	差引(25年間)
<b>【歳出】 合計</b>	<b>32,394,290 千円</b>	<b>33,238,921 千円</b>	<b>▲844,631 千円</b>
整備費用(監理含む)	11,951,610 千円	12,198,001 千円	▲246,391 千円
R9～12 ※ <sup>1</sup>	見積内容精査・削減に伴う減		
運営費用	10,815,528 千円	11,707,528 千円	▲892,000 千円
R7～31 ※ <sup>2</sup>	見積内容精査・削減に伴う減		
元金償還	4,510,352 千円	4,838,713 千円	▲328,361 千円
利息償還	3,418,675 千円	2,796,554 千円	+622,121 千円
計	7,929,027 千円	7,635,267 千円	+293,760 千円
R8～31 ※ <sup>3</sup>	借入額は減となるが、利率が上昇していることに伴う増		

※<sup>1</sup> 整備期間は、3カ月遅れたことを考慮し、改めて工期を設定し、設計・建設工事3年8カ月、令和13年2月末までとなる見込み

※<sup>2</sup> 新施設の運営期間は20年間のため、令和13年3月から令和33年2月末まで続く見込み

※<sup>3</sup> 元利金償還期間は実際には令和42年まで続くが試算上除く(前回も同様)

★精査・削減の目標としていた整備費(設計含む)の120億円、運営費20年間の100億円以下(前ページ参照)に抑えることは出来ましたが、今後、地方債借り入れ時の利率上昇や更なる物価上昇に伴う影響が続くものと思われます。

## ★精査した内容

### 【整備費】

- ・プラントメーカーが概算で出していた土木建築費用について実態に合わせて精査

### 【運営費】

- ・運転作業員数及び重機数の精査
- ・運転作業員の単価見直し
- ・SPC(特別目的会社)設立要件を緩和(設立は任意とする)  
 ※SPC組成費用等経費の削減

## ★削減した内容

- ・要求水準からおもに以下の項目を削除

### 【整備費】

- ・市職員諸室及びそれに伴う関連設備(職員玄関から諸室(トイレ・更衣室等含む))
- ・見学者用設備(見学者用通路やデジタルビジョン等)
- ・太陽光発電設備

### 【運営費】

- ・計量員業務を委託から直営に変更

## 3 今後25年間の実質一般財源負担額について

<試算条件>

- ①令和7年度から31年度までの25年間(DBOの初回運営委託契約20年間まで)
- ②令和7年度から9年度までの旧クリーンセンター解体工事及び監理費用も含む
- ③令和7年度から11年度までの運営費用は前回(2月勉強会時点)と同じ
- ④歳入には国庫補助、地方債に加え、回収資源売払と交付税措置を含む
- ⑤歳出には地方債の元利金償還額(令和31年度までに限る)を含む

(単位:千円)

比較対象	総事業費	整備3年・運営25年内訳		財源総額	実質一般財源負担額
		整備費用	運営費用		
令和7年4月 事業決定時	24,733,470	9,893,000	7,326,495	14,902,975	9,830,495
	単年度実質一般財源負担額→				393,220
	令和6年度実績ベースからの事業費増分(単年度)→				<b>172,153</b>
今回 (令和8年5月) 再精査後	32,394,290	11,951,610	10,815,528	18,759,070	13,635,220
	単年度実質一般財源負担額→				545,409
	令和7年4月事業決定時からの追加増分(単年度)→				<b>152,189</b>
	令和6年度実績ベースからの事業費増分(単年度)→				<b>324,342</b>

- ★今回精査した額で計算し直した場合、年間の実質一般財源負担額(25年割額)は、**545,409千円/年**となりました。
- ★令和8年2月勉強会報告時は580,439千円/年でしたので、**年間の実質一般財源負担額は35,030千円/年、25年で合計875,764千円の削減**となりました。
- ★今後、総合評価一般競争入札を実施することで価格競争が働くものと思われませんが、引き続き、今後の支出見込額を適切に把握したうえで、必要な財源を確保していきます。

#### 4 今後の進め方

時期	整備運営事業	議会・市民
令和8年6月		・6月議会議案(整備費及び運営費の債務負担行為設定)上程
7月	・入札公告	・ホームページ掲載
令和9年1月	・事業者提案書提出	
3月	・落札者の決定	・3月議会議案(9年度当初予算)
6月		・6月議会議案(整備費の継続費・運営費の債務負担行為設定、整備運営事業建設工事請負契約の締結)上程
7月	・契約締結(建設工事・運営委託)	・ホームページ掲載

- ★今回の事業費精査結果をもとに予定価格見込額を算定し、入札公告に向けた債務負担行為額を整備費及び運営費ともにそれぞれ設定する予定です。
- ★債務負担行為設定の議決後、予定価格を決定し、令和8年7月に入札公告を行う予定です。
- ★入札の実施にあたっては、より多くの競争が見込めるよう情報提供を行っていきます。
- ★落札者の決定後、工事契約を締結し、令和9年7月より設計・建設工事に着手する予定です。

以上